

日本アジア投資株式会社 2016年3月期 期末 決算補足資料

決算発表日：2016年5月10日

決算説明会：2016年5月11日

(ご注意)本資料に記載された事項は、資料作成時点での当社の判断であり、その情報の正確性を保証するものではありません。また、今後予告なしに変更されることがあります。本資料に含まれる意見や予測などについては、様々な要因の変化により、実際の業績や結果とは大きく異なる可能性があることをご留意下さい。また、本資料は情報の提供のみを目的としており、当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的とするものではありません。なお、本資料内の数値は全て連結ベース(ファンド連結基準、または、従来連結基準)にて表示しております。

まとめ	P3
1. 2016年3月期の実績(従来連結基準)	P4
2. 2017年3月期の計画(従来連結基準)	P27
3. 当社の目指す姿(従来連結基準)	P34
4. 参考資料	P38

1. 2016年3月期の実績（従来連結基準）
 - － 最終黒字化達成、海外ファンドの収益が寄与
 - － First Easternグループとの資本業務提携
 - － 2ファンドの新規設立を達成
2. 2017年3月期の計画（従来連結基準）
 - － 2期連続の黒字を見込む
 - － 大型プライベートエクイティファンド組成を目指す
 - － メガソーラープロジェクトの一部早期Exitを検討
3. 当社の目指す姿（従来連結基準）
 - － 安定した収益基盤の確保、健全な財務状況の確立
 - － 有望な投資資産の積み上げ

1. 2016年3月期の実績(従来連結基準)



事業環境・・・・・・・・・・・・・・・・	P5
提携先 First Easternグループ	P6
ハイライト・・・・・・・・・・・・・・・・	P7
業績の推移・・・・・・・・・・・・・・・・	P8
PL ・・・・・・・・・・・・・・・・	P9
BS ・・・・・・・・・・・・・・・・	P15
CF ・・・・・・・・・・・・・・・・	P17
営業情報・・・・・・・・・・・・・・・・	P18

- ・ 日本
 - 年明け以降株式市場は調整局面
 - IPO市場も過熱感はなし
 - ベンチャーファンドの設立ブーム
 - 東証インフラファンド市場開設、マイナス金利導入
⇒ 再生可能エネルギーへの関心高まる
- ・ 中国
 - マクロ経済の指標が悪化
 - 実際の景況感は、業界・地域により大きな格差
 - 中国企業の海外企業買収、中国からの海外旅行者増加

1. 2016年3月期の実績 - 提携先 First Easternグループ



会社名	First Eastern (Holdings) Limited
所在地	香港
代表者	Victor Lap Lik Chu
設立	1988年
大株主	Victor Lap Lik Chu(90%)

代表者 Victor Lap Lik Chu 氏

香港を代表する投資グループ

- 5つの活動拠点(香港、北京、上海、ドバイ、ロンドン)
- 200社超の投資実績
- ANA、産業革新機構と共にLCCピーチアビエーション社に投資
- Victor 氏は、世界経済フォーラム(ダボス会議)理事等、各種公職を歴任
- 2016年3月末当社筆頭株主(シェア11%)

1. 2016年3月期の実績 - ハイライト(従来連結基準)



従来連結基準	2015/3期実績		2016/3期 実績		
	金額 (百万円)	構成比	金額 (百万円)	構成比	増減率
営業収益	4,532	100%	4,043	100%	△11%
営業原価	3,650	81%	2,488	62%	△32%
営業総利益	882	19%	1,554	38%	76%
販管費	1,433	32%	1,472	36%	3%
営業利益	△550	-	82	2%	-
経常利益	△610	-	612	15%	-
親会社に帰属する 当期純利益	△850	-	597	15%	-

受取配当金
700百万円

黒字化
達成

予約権行使
・CB転換に
より増強

2ファンド
新設

借入金・社債残高	20,193	-	16,910	-	△16%
自己資本	3,373	-	4,976	-	48%

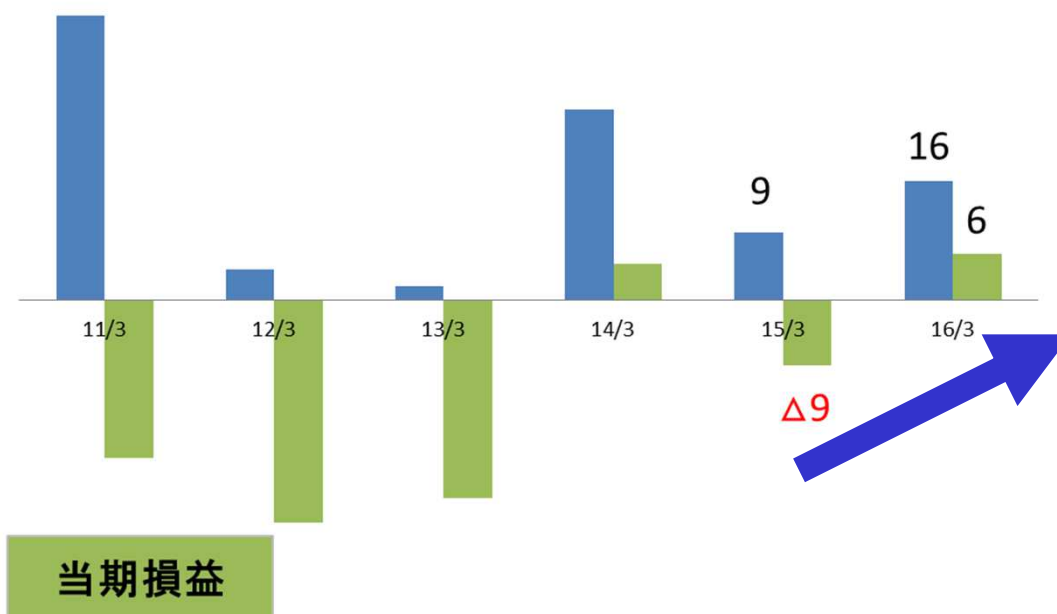
ファンド設立額	-	-	5,201	-	-
ファンド運用残高	43,897	-	39,335	-	△10%
投資実行高	2,728	-	4,093	-	50%
投資残高	19,722	-	18,783	-	△5%

1. 2016年3月期の実績 - 業績の推移(従来連結基準)



単位: 億円

営業総利益



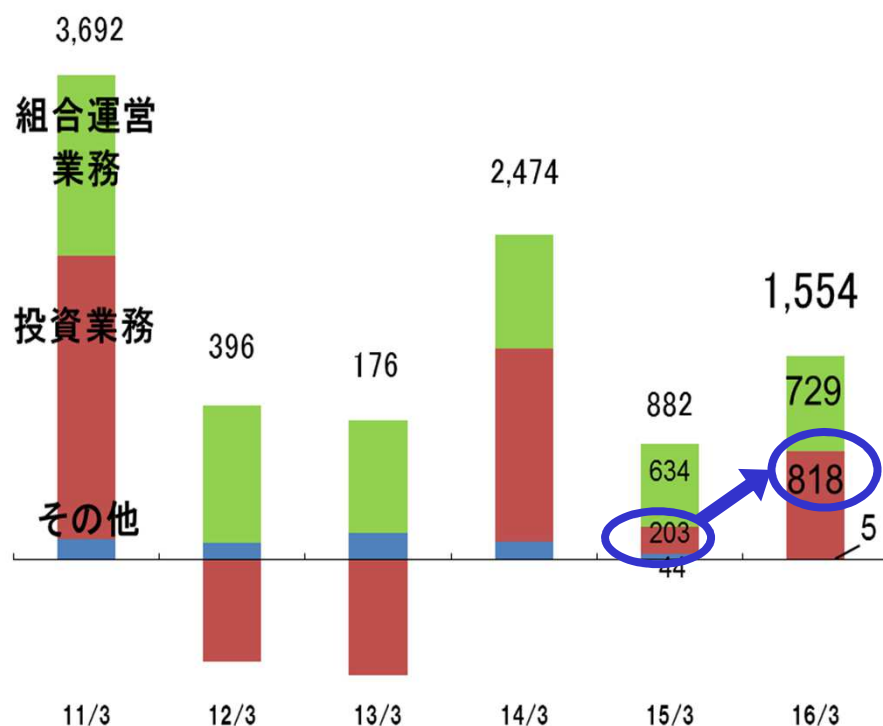
6億円

黒字化達成

1. 2016年3月期の実績 - PL: 営業総利益の内訳(従来連結基準)



(百万円)



6億円増

投資業務 営業総利益増加

1. 2016年3月期の実績 - PL: 組合運営報酬推移(従来連結基準)



・ファンド 新規設立、運用残高 推移

(単位: 百万円)	11/3	12/3	13/3	14/3	15/3	16/3
ファンド設立・資産増加額	1,330	11,926	4,548	-	-	5,201
ファンド運用残高	85,755	85,833	85,873	50,888	43,897	39,335

2ファンド新設達成

・組合運営報酬 推移

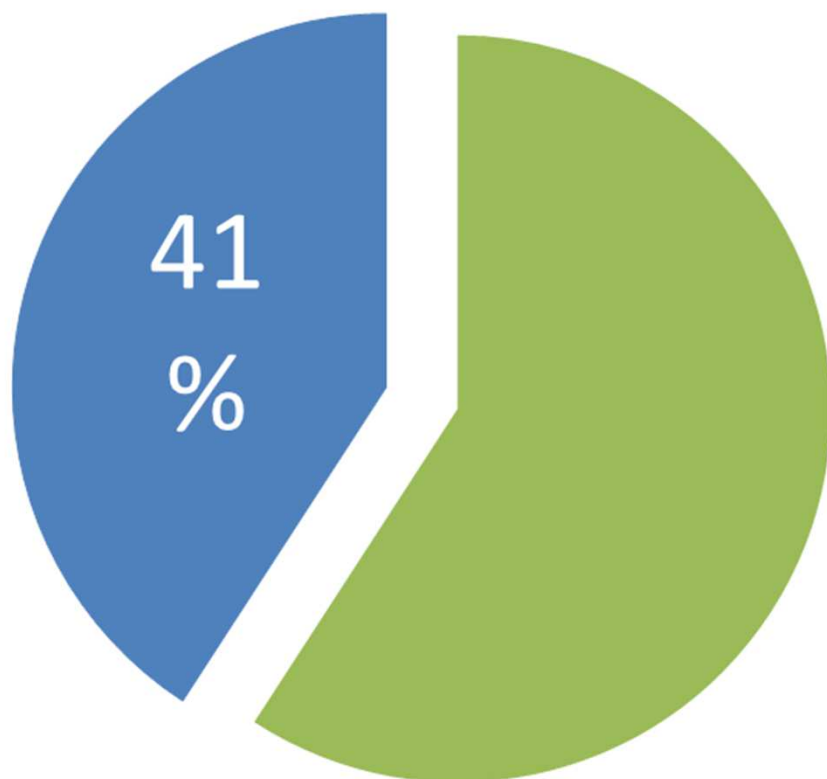
(単位: 百万円)	11/3	12/3	13/3	14/3	15/3	16/3	増減率(%)
組合運営報酬 合計	1,383	1,050	852	865	634	729	15%
うち 管理報酬等	1,088	966	815	733	571	441	△23%
うち 成功報酬	295	84	37	132	63	288	354%

海外ファンドの成功報酬増加
管理報酬減少カバー

1. 2016年3月期の実績 - PL: 組合運営報酬推移(従来連結基準)



管理報酬 内訳



41%

満期まで4年以上
のファンドからの
管理報酬

1. 2016年3月期の実績 - PL:投資損益 推移(従来連結基準)

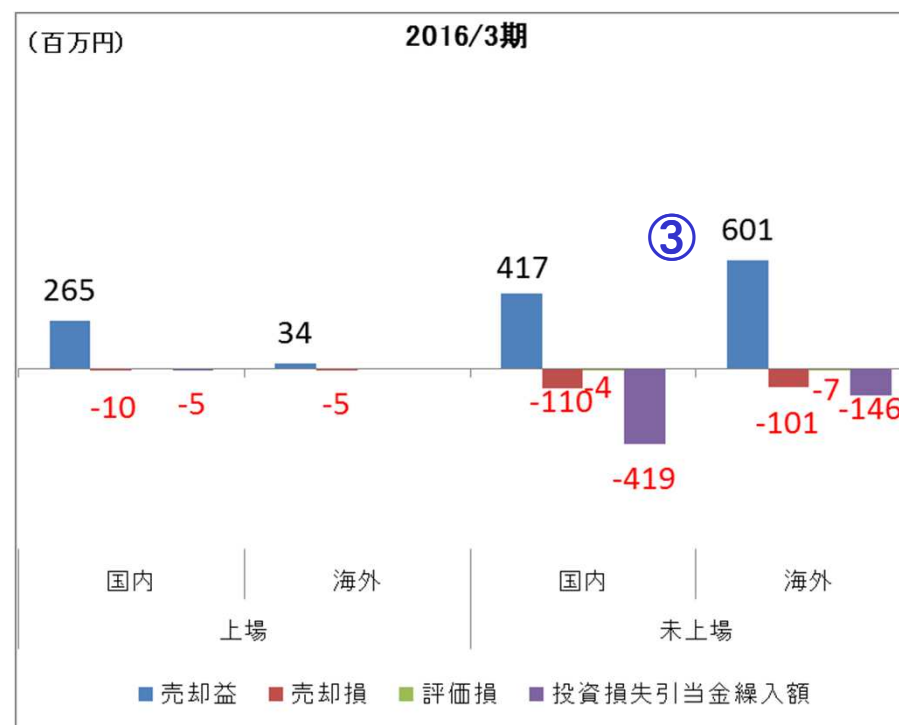
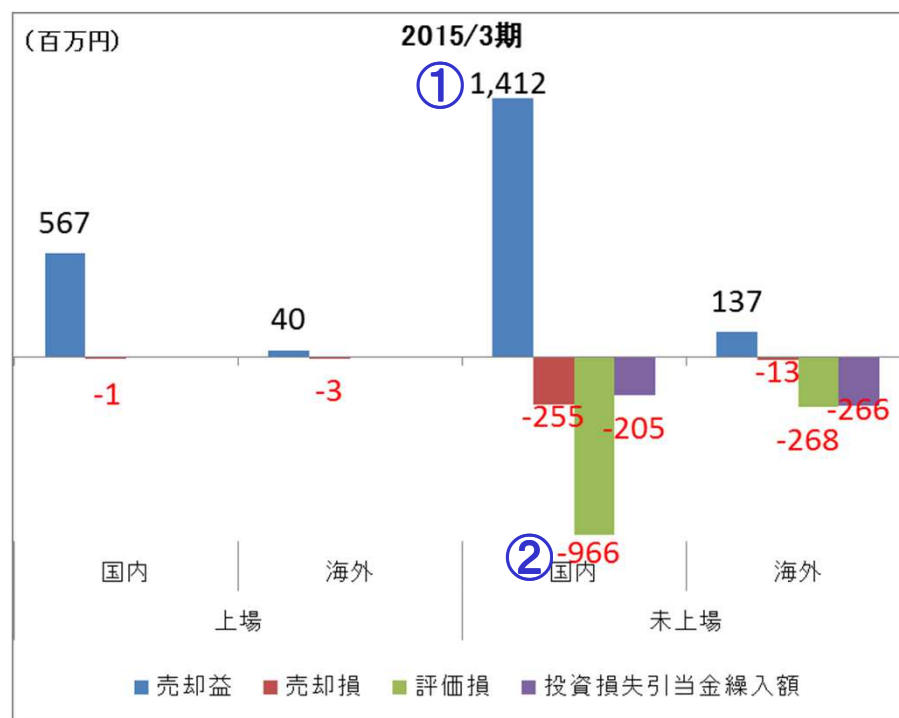


(単位:百万円)	11/3	12/3	13/3	14/3	15/3	16/3	増減率(%)
営業投資有価証券売却高	8,584	3,938	2,411	4,656	3,651	2,954	△19%
営業投資有価証券売却原価	6,680	3,412	1,385	2,133	1,767	1,863	5%
実現キャピタルゲイン	1,904	526	1,025	2,523	1,883	1,090	△42%
営業投資有価証券評価損	627	394	174	45	1,233	10	△99%
投資損失引当金繰入額	△ 296	978	1,863	1,435	471	559	19%
投資損益	1,573	△ 847	△ 1,012	1,042	178	520	191%

- ①② 売却案件の小型化 → 売却高、売却益 減少
- ③ 損失処理一巡 → 評価損・引当繰入 減少

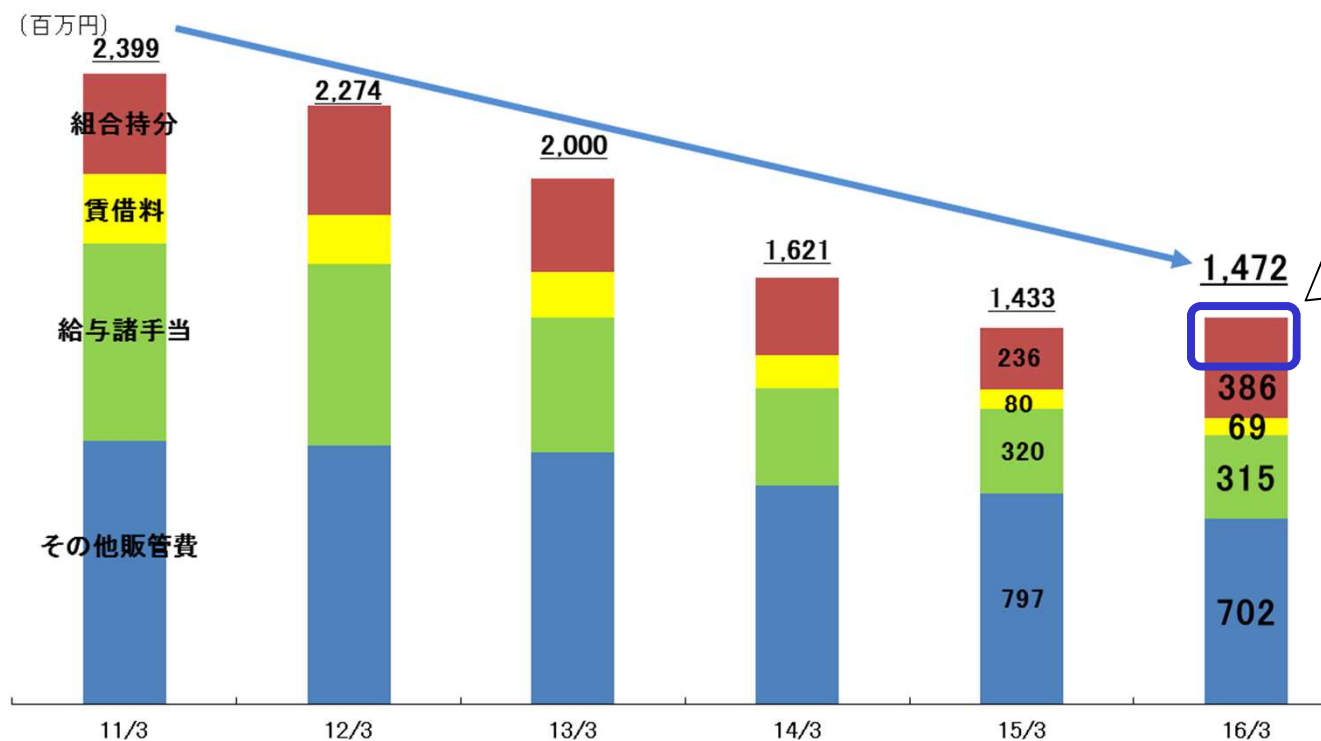
上記表の「営業投資有価証券売却原価」には「営業投資有価証券評価損」は含めておりません。

1. 2016年3月期の実績 - PL:投資損益 内訳(従来連結基準)



- ① 前期 国内未上場売却益 → (株)ヘルシーサービス等
- ② 前期 国内未上場評価損 → (株)白元 等
- ③ 当期 海外未上場売却益 → 中国での成功事例

1. 2016年3月期の実績 - PL: 販売費及び一般管理費(従来連結基準) JAIC

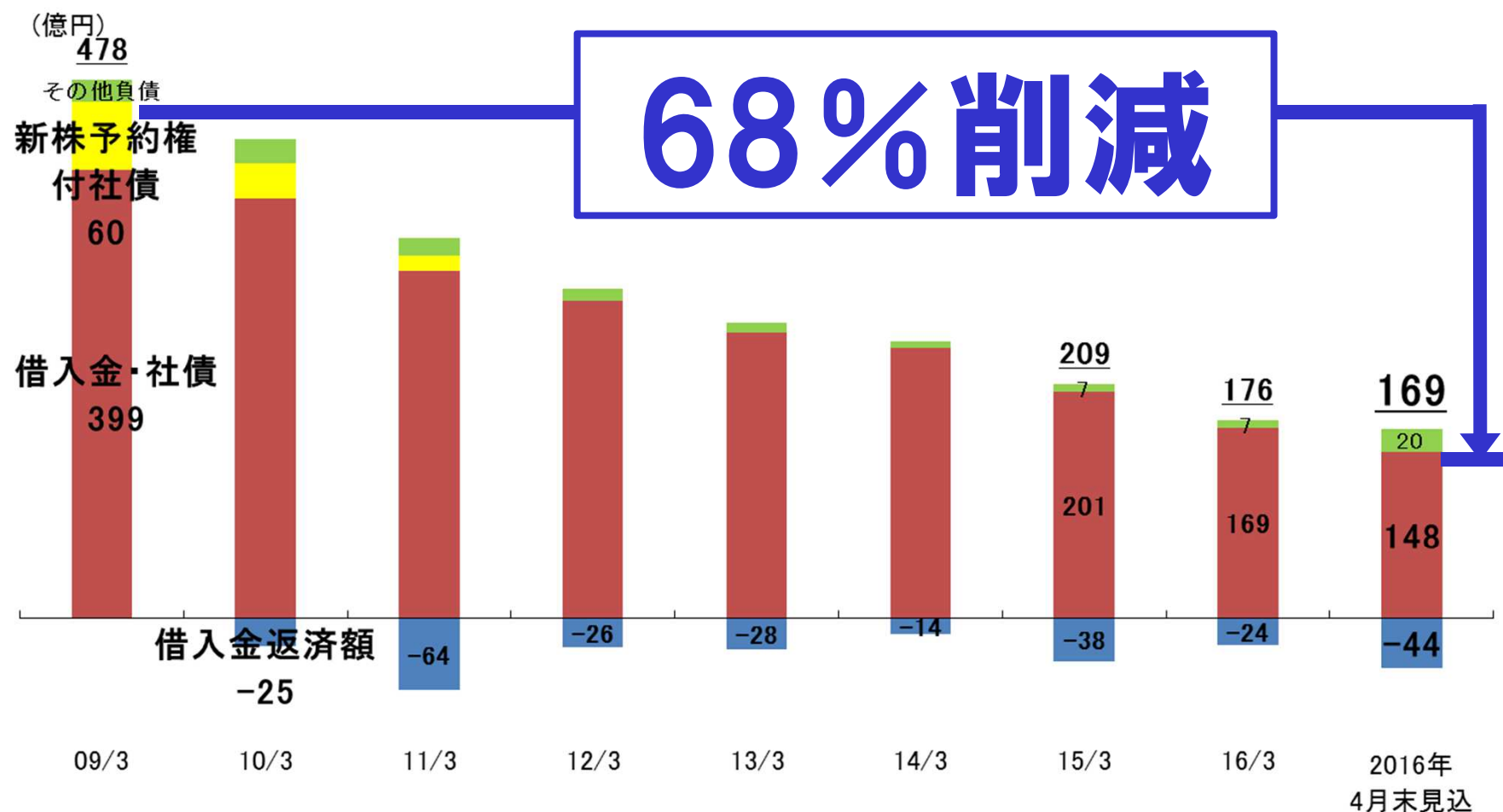


**209
百万円**

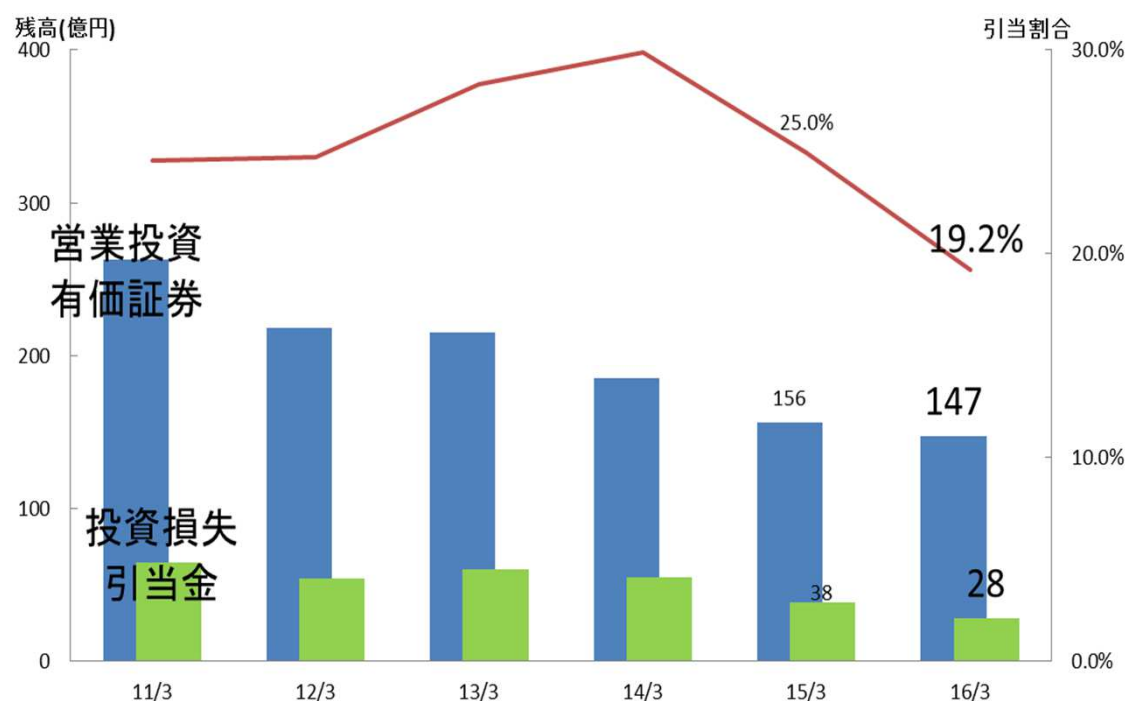
増加特殊要因
国内他社運営
ファンド向け
支払成功報酬

		11/3	12/3	13/3	14/3	15/3	16/3
従業員数	連結	133	109	80	46	45	43
	単体	80	66	42	23	25	23

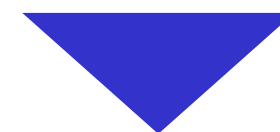
1. 2016年3月期の実績 - BS : 負債の状況(従来連結基準)



1. 2016年3月期の実績 - BS : 引当率(従来連結基準)



資産入替
進捗



引当割合低下

- ・ 開示データと財務諸表との連動性を高めることが開示データをより有用にすると判断したため、2012/3期末より引当率は有税償却残高等を加味せずに計算しております。
- ・ その結果、営業投資有価証券残高及び投資損失引当金残高は、連結貸借対照表の各残高と一致しております。

1. 2016年3月期の実績 - CF（ファンド連結基準）



(単位:百万円)	11/3	12/3	13/3	14/3	15/3	16/3	増減率(%)	
営業活動によるCF	7,137	738	1,196	3,624	511	974	90%	①
投資活動によるCF	2,215	396	277	437	213	470	120%	
財務活動によるCF	△ 7,886	△ 4,056	△ 2,838	△ 1,424	△ 3,224	△ 1,404	-	②
CF増減額	1,431	△ 2,948	△ 1,259	2,758	△ 2,371	△ 26	-	
期末残高	9,762	6,813	5,554	8,313	5,942	5,915	△0%	

- ① 税引前利益増加、投資回収による収入増加
- ② 借入金返済額減少、予約権行使による収入増加

1. 2016年3月期の実績 - 営業情報 - 新規設立ファンド



ファンド名	設立時期	ファンド総額	特徴
RJAエネルギー 投資事業 有限責任組合	平成28年2月	32億円 (設立時点)	・ メガソーラープロジェクト向け ・ リニューアル・ジャパン(株)、あおぞら銀行(株)と共同運営 ・ 三菱UFJリース(株)が出資
JAIC企業育成 投資事業 有限責任組合	平成28年2月	20億円	・ 国内ベンチャー企業向け ・ 国内大手金融機関が出資 ・ 主に他社運営ファンドからのポートフォリオ買い取り (セカンダリー投資)実施

1. 2016年3月期の実績 - 営業情報 - 上場実績



	会社名／概要	証券コード	公開市場
1	 (株)フェニックスバイオ PXBマウスを用いた受託試験サービス	6190	東証マザーズ
2	 ヒロセ通商(株) 外国為替証拠金取引事業	7185	JASDAQスタンダード
3	 (株)ロゼッタ 自動翻訳サービス事業、翻訳、通訳事業、企業向け語学研修事業	6182	東証マザーズ
4	 (株)グリーンペプタイド がん免疫治療薬の研究、開発、製造、販売	4594	東証マザーズ
5	 (株)エスケーホーム 注文住宅の企画、設計、販売、施工、監理を主な事業内容とする戸建住宅事業及び付随する不動産販売事業等	1431	福証Q-Board
6	 (株)ナガオカ 石油精製・石油化学プラント用の内部装置、取水用スクリーン、水処理装置の製造販売、高速海底浸透取水システム装置の研究開発	6239	JASDAQスタンダード

上記の他、海外で上場株との株式交換2社あり。

～北京曉清環保工程有限公司～



【会社概要】

- 所在地： 中国、北京市
- 設立年月： 1988年
- 代表者： 董事長・總裁 韓 小清
- 株主： 経営陣、VC
- URL： <http://www.xqhb.com/>

【ビジネスサマリー】

中国水処理ビジネスの草分け的企業

- ・水処理の研究者であった韓董事長が4万元で起業し、年商3億元規模まで成長させた、水処理ベンチャーの老舗。
- ・韓董事長は研究者としての顔も広く、アカデミックの人脈も多数。

総合環境問題ソリューションプロバイダーへ

- ・近年の深刻な中国環境問題により、注目度が増し、公的プロジェクトが増加。
- ・水処理のみにとどまらず、ごみ処理、エネルギーリサイクルなど総合的な環境企業へ。

【製品・サービス特徴】

水処理

- ・好気・嫌気性微生物など自然の力を利用した、水浄化システムの総合提案が可能。
- ・公共施設、製薬企業、食品メーカー等の水処理システムの実施例多数。
- ・近年BOT方式による大規模地方政府案件が増加。
- ・海水の淡水化など、水不足問題にも取り組む。

ごみ処理

- ・微生物発酵を利用した、ごみ処理、発生するガスを利用した暖房システムなどエコ環境システムの総合提案が可能。



【Exit概要】

2015年9月 同業の中国上場企業とのM&A ⇒ 当社投資分を代表者持株と共に譲渡

～Sinomed Holdings Limited～

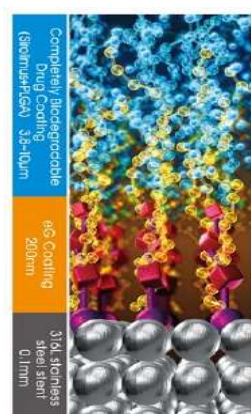


【会社概要】

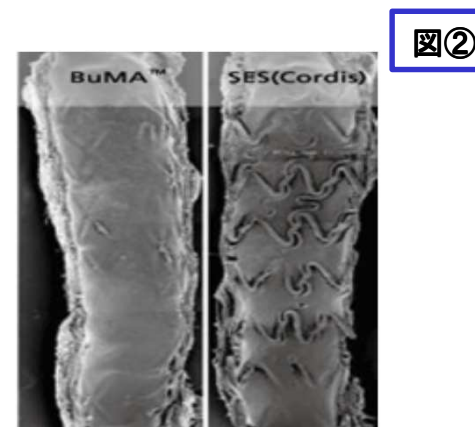
- ・本社所在地： 中国北京市
- ・事業内容： 医療機器（心臓冠動脈治療のPTCA手術に使用されるステント、カテーテル”BuMA™”等）の開発・製造・販売
- ・URL: <http://en.sinomedical.net/#>

【製品特徴】

- ・コーティング技術が優れており、ステント拡張時に亀裂、剥離が起こりにくい(図①)
- ・血管内皮と親和性が高く、抗血栓剤を服用する必要がない(図②)
- ・薬剤の徐放(溶出)期間が30日と長くかつ薬剤が残余しないため、再狭窄(冠動脈の再閉塞)率が低い
- ・SFDAの認可取得済み、販売実績あり



Note:
1. eG™ means electro-grafting technology, build a chemical bond between metal stent and polymer coating.
2. VPD: Vapor Phase Deposition



【Exit概要】

2016年3月 同社オーナー及びその紹介者へ譲渡。過年度にも他投資家へ一部譲渡を実施。

1. 2016年3月期の実績 - 営業情報 - 投資事例(プライベートエクイティ) ▲JAIC

17社、13億円 投資実行

環境・エネルギー



リニューアブル・ジャパン
(当社メガソーラー投資事業のパートナー)

IT・インターネット関連



葵
(スマホ学習塾)



Exploring Limitless Talents for e-Solutions

エルテス
(ビッグデータ関連)



TORICO
(Webマンガ)



FacePeer
(Webコミュニケーション)



株式会社ミックスネットワーク
ミックスネットワークス
(Web運営基盤ツール)



ワンダーリーグ
(賞金イベント連動型スマホゲーム)

医療・介護・バイオ・ヘルスケア



レグイミュン
(免疫、アレルギー疾患の
根治療薬開発)



フェニックスバイオ
(PXBマウス)



瀋陽泉輝国際老年康復有限公司
(日本介護事業者との提携)

バイオ関連
2社

サービス、その他



プラスワン・マーケティング
(SIMフリー端末、MVNO)



リグア

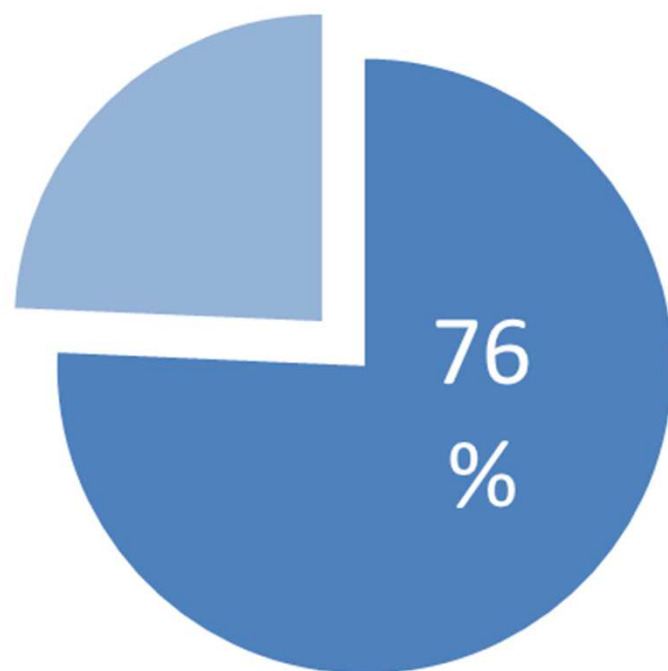
(接骨院・整骨院の経営支援)



グローバルトラストネットワーク
(外国人に特化した家賃保証)

不動産関連
サービス
2社

引当後投資残高内訳



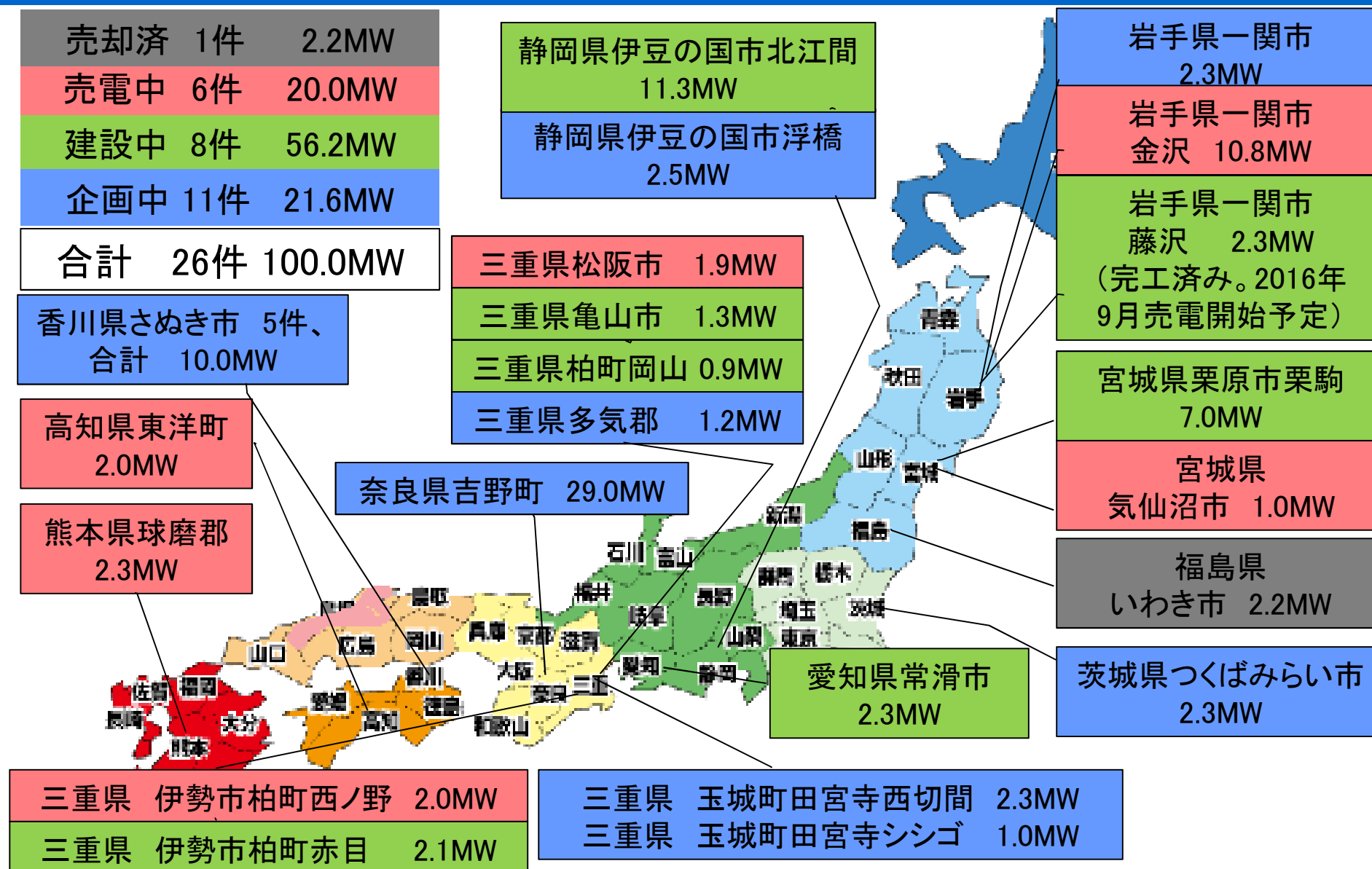
76%

2008年9月
(リーマンショック)
以降の投資

(自己勘定+ファンド)

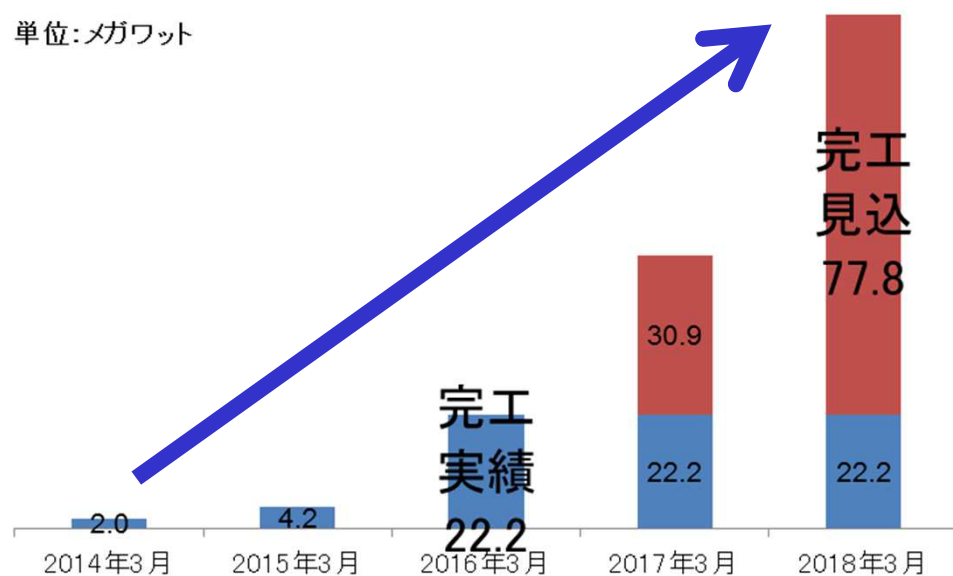
- ・他社ファンドへの出資持分額は含んでおりません。
- ・追加投資額も初回投資時の実行分として集計しております。

1. 2016年3月期の実績 - 営業情報 - メガソーラー投資実績



1. 2016年3月期の実績 - 営業情報 - メガソーラー投資事業 売電見込規模

単位:メガワット



100MW

2018年3月末 売電見込

2016年3月期
メガソーラー関連利益貢献
約1億円(従来連結基準)

- ・完工実績には売却済みプロジェクトも含めております。
- ・売電規模見込み額は現時点で当社が一定の前提条件に基づいて算定したものであり、その情報の正確性を保証するものではありません。様々な要因の変化により、実際の業績や結果とは大きく異なる可能性があります。また、今後予告なしに変更されることがあります。

2. 2017年3月期の計画(従来連結基準)



業績見込値・・・・・・・・・・・・・・・・	P28
テーマ別施策・・・・・・・・・・・・・・・・	P29

2. 2017年3月期の計画 - 業績見込値(従来連結基準)



2期連続 黒字 目指す

従来連結基準	2016/3期実績		2017/3期見込		
	金額 (百万円)	構成比	金額 (百万円)	構成比	増減率
営業収益	4,043	100%	5,100	100%	26%
うち ファンド報酬	729	18%	450	9%	△38%
うち 投資業務	3,300	82%	4,500	88%	36%
うち その他	13	0%	150	3%	1038%
営業原価	2,488	62%	3,100	61%	25%
うち 売却原価	1,863	46%	2,500	49%	34%
うち 評価損・引当	570	14%	500	10%	-12%
うち その他	54	1%	100	2%	83%
営業総利益	1,554	38%	2,000	39%	29%
販管費	1,472	36%	1,300	25%	-12%
営業利益	82	2%	700	14%	748%
経常利益	612	15%	550	11%	-10%
親会社に帰属する 当期純利益	597	15%	375	7%	-37%

成功報酬見込まず

- ・未上場中心に売却高38億円
- ・メガソーラープロジェクト関連
売却益含め6億円

営業外 特殊要因見込まず

- ・特別損失、税金費用発生
見込み

業績見込値は現時点で当社が一定の前提条件に基づいて算定したものであり、その達成を保証するものではありません。様々な要因の変化により、実際の業績や結果とは大きく異なる可能性があります。

- ①国内投資実行
- ②First Easternとの提携推進
- ③再生可能エネルギー投資拡大
- ④既存ポートフォリオのValue Add(VA)

- 短期（3年程度）売却益を狙うセカンダリー投資
- 将来の収益源となる「有望企業」の発掘、支援
- 新規VCファンド設立目標 50億円
- 「有望企業」には追加投資
- 投資領域拡大 グロース、小型バイアウト

- グロースファンド設立目標 100億円
インバウンド関連等国内企業を投資対象
- 中国でも共同ファンド設立を企画
設立目標額 5億人民元

2. 2017年3月期の計画 - テーマ別施策 - 再生可能エネルギー投資拡大 JAIC

- 新規案件開拓、事業規模拡大
- 建設/企画中案件推進、中長期・安定収益獲得
- プロジェクト早期Exitも追及、6億円利益見込
- 他再生可能エネルギー投資 試験的に開始

- 既存投資先へより積極的なVAを実施
IPO、売却益増加を目指す
- 連携先(ex. First Eastern、ファンド出資者、
取引金融機関等)のリソースを積極活用

3. 当社の目指す姿



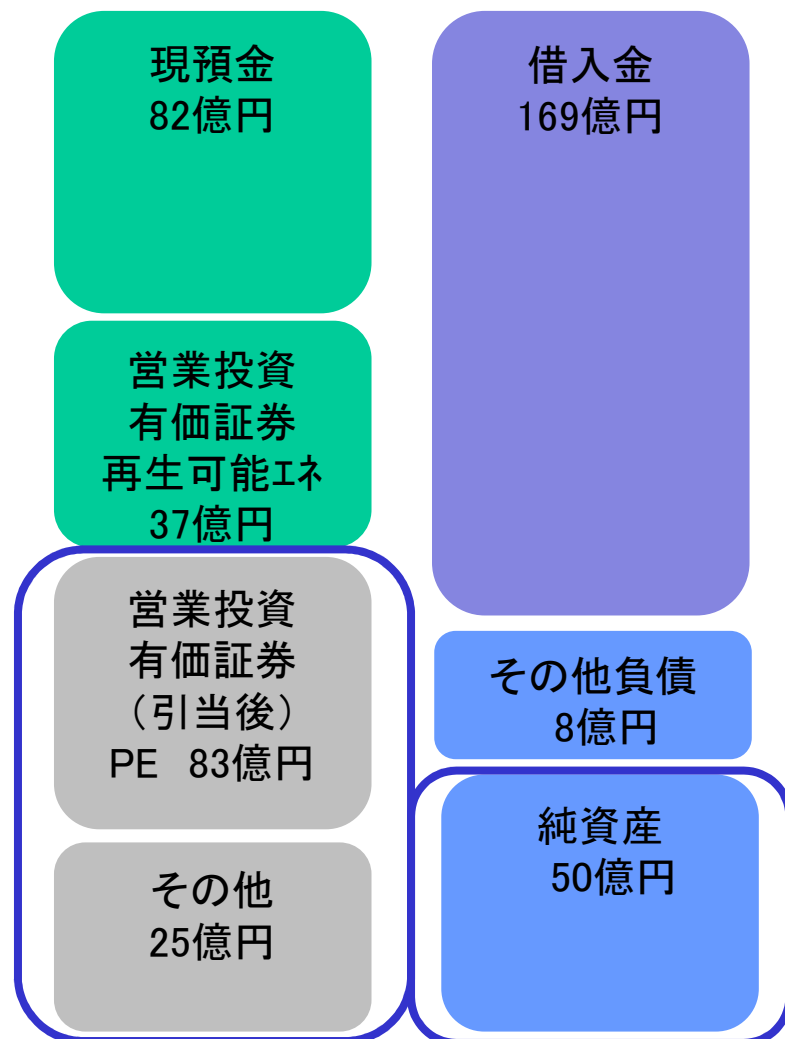
目標・・・・・・・・・・・・・・・・	P35
2020年のJAIC・・・・・・・・	P36

- デット・エクイティ レシオ1倍
(借入返済、利益積上げ)
- 営業投資資産入替、優良資産積み上げ
- 2020/3期までにファンド運用残高増加
- 2018/3期までに100MW超の売電開始
- 安定収益増加、販管費をカバー

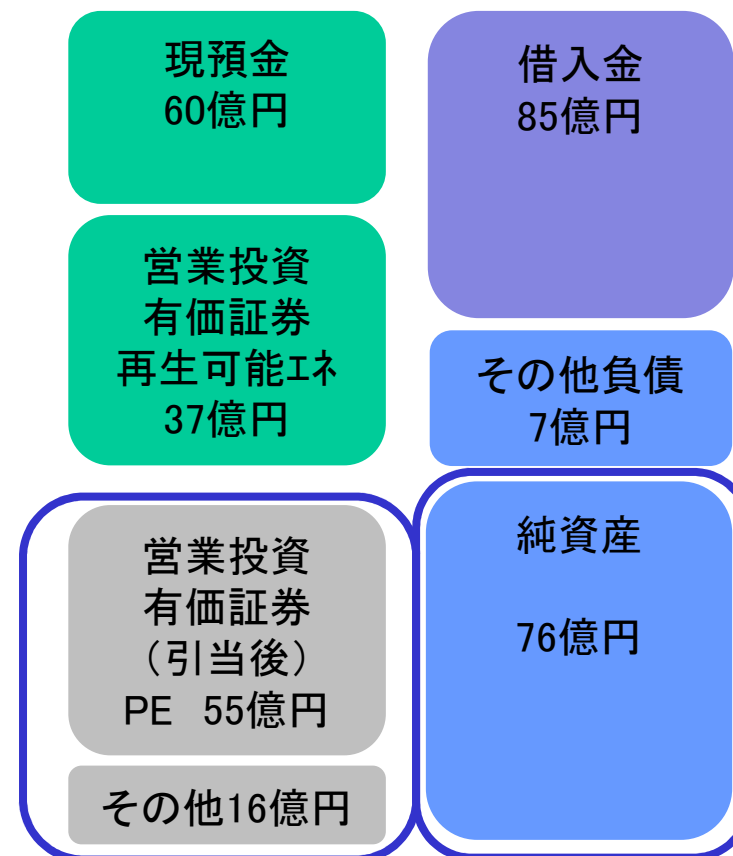
3. 当社の目指す姿 - 2020年のJAIC - BS



2016年3月末 実績
(従来連結基準)



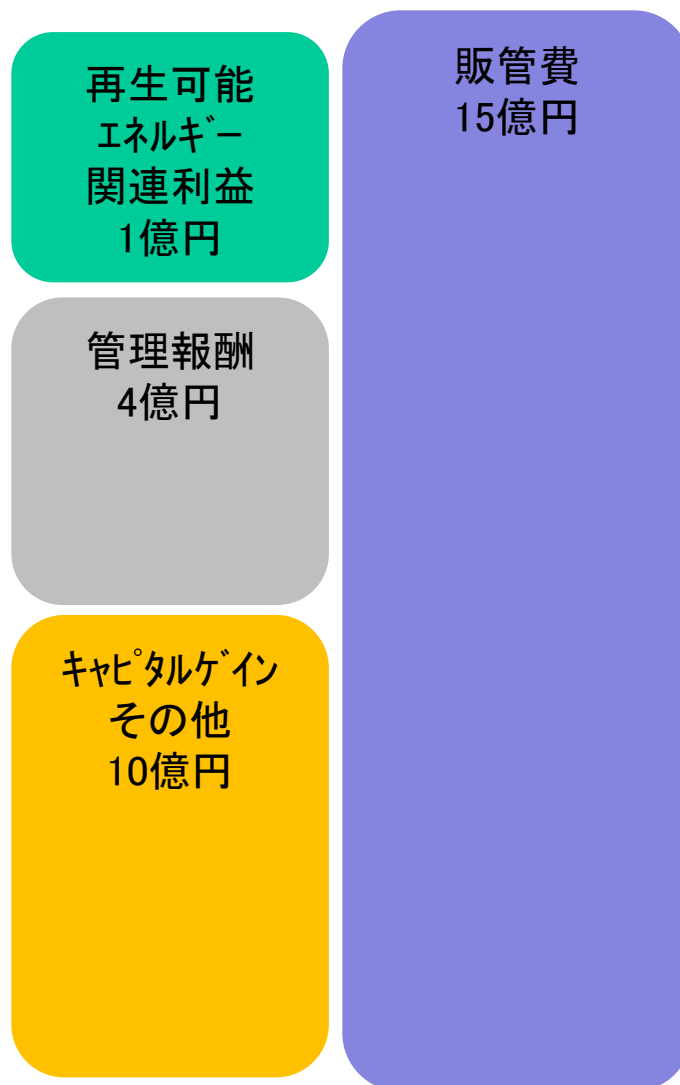
2020年3月末目標
(従来連結基準)



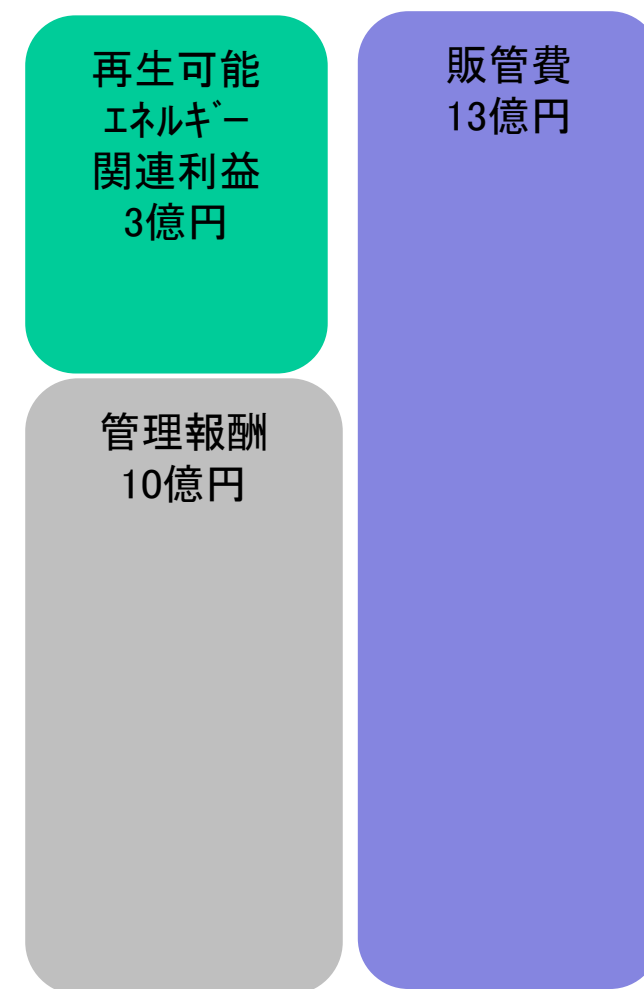
3. 当社の目指す姿 - 2020年のJAIC - PL



2016年3月末 実績（従来連結基準）



2020年3月末 目標（従来連結基準）



安定収益で販管費をカバーすることを目指す

4. 参考情報



主要データの推移・・・・・・・・・・・・・・・・	P39
営業収益・営業利益内訳・・・・・・・・	P40
上場実績・・・・・・・・・・・・・・・・	P41
投資残高内訳・・・・・・・・・・・・・・・・	P42
投資残高と営業投資有価証券残高の関係	P44
会社概要・・・・・・・・・・・・・・・・	P45
収益構造・・・・・・・・・・・・・・・・	P46
コア・コンピタンス・・・・・・・・	P48

主要データの推移



・業績、財務状況（従来連結基準）

(単位: 百万円)	08/3	09/3	10/3	11/3	12/3	13/3	14/3	15/3	16/3	増減率
業績										
営業収益	20,051	8,494	7,414	10,979	5,396	3,784	6,155	4,532	4,043	△11%
営業総利益	10,879	△ 19,988	△ 5,599	3,692	396	176	2,474	882	1,554	76%
販売費及び一般管理費	5,328	7,698	3,787	2,399	2,274	2,000	1,621	1,433	1,472	3%
営業利益	5,550	△ 27,686	△ 9,386	1,293	△ 1,878	△ 1,823	852	△ 550	82	-
経常利益	4,796	△ 28,950	△ 10,334	175	△ 2,477	△ 2,612	374	△ 610	612	-
当期純利益	3,049	△ 34,845	△ 10,903	△ 2,044	△ 2,885	△ 2,575	462	△ 850	597	-
財務状況										
借入金・社債・予約権付社債残高	39,273	45,971	40,563	32,327	28,275	25,433	24,010	20,193	16,910	△16%
自己資本	55,003	14,142	5,378	4,376	1,969	1,565	2,573	3,373	4,976	48%

・ファンドの状況、投資の状況

(単位: 百万円)	08/3	09/3	10/3	11/3	12/3	13/3	14/3	15/3	16/3
ファンド設立・資産増加額	11,257	11,626	9,883	1,330	11,926	4,548	-	-	5,201
ファンド運用残高	108,800	108,502	108,445	85,755	85,833	85,873	50,888	43,897	39,335
投資実行額	23,950	15,046	4,002	3,204	4,545	4,746	4,189	2,728	4,093
投資残高	89,497	76,472	63,076	42,268	36,706	33,886	25,862	19,722	18,783

営業収益・営業総利益 内訳 (従来連結基準)

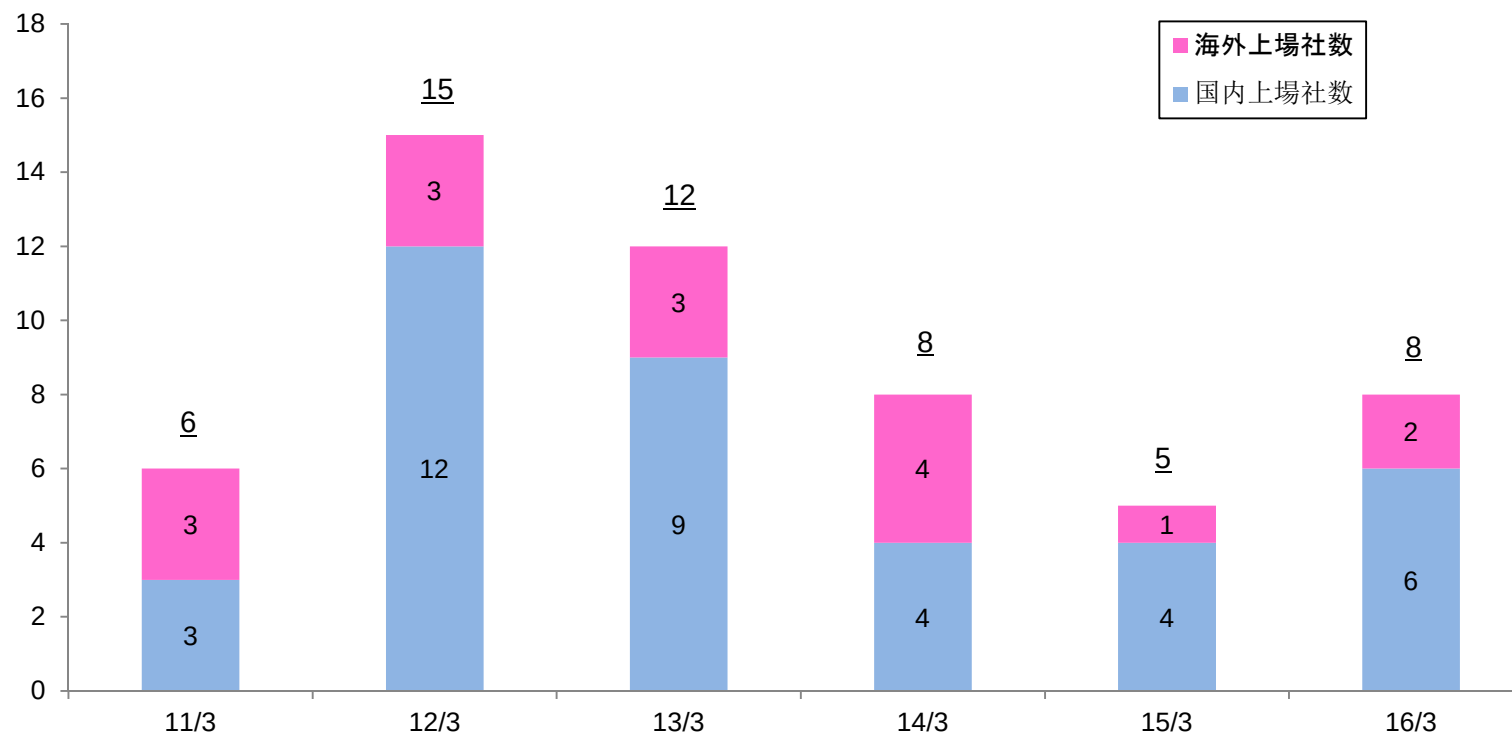


(単位：百万円)	08/3	09/3	10/3	11/3	12/3	13/3	14/3	15/3	16/3	増減率 (%)
<業務別>										
1. 投資事業組合等管理業務										
管理運営報酬等	1,501	1,559	1,294	1,088	966	815	733	571	441	△23%
成功報酬	1,006	268	461	295	84	37	132	63	288	354%
営業収益	2,508	1,827	1,755	1,383	1,050	852	865	634	729	15%
営業原価	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-
営業総利益	2,506	1,827	1,755	1,383	1,050	852	865	634	729	15%
2. 投資業務										
営業投資有価証券売却高	14,547	5,203	4,700	8,584	3,938	2,411	4,656	3,651	2,954	△19%
利息・配当収入	746	606	430	595	181	95	121	93	49	△47%
組合持分利益等	1,241	207	242	180	63	194	357	100	295	195%
営業収益	16,535	6,018	5,373	9,360	4,183	2,701	5,134	3,844	3,300	△14%
営業投資有価証券売却原価/投資原価	5,960	5,022	4,450	6,680	3,412	1,385	2,133	1,767	1,863	5%
営業投資有価証券売却原価/評価損	1,665	15,069	2,829	627	394	174	45	1,233	10	△99%
投資損失引当金繰入額	467	7,615	5,151	△296	978	1,863	1,435	471	559	19%
組合持分損失等	540	509	398	191	178	158	52	168	47	△72%
営業原価	8,632	28,217	12,829	7,203	4,964	3,582	3,666	3,640	2,481	△32%
営業総利益	7,902	△ 22,199	△ 7,456	2,157	△ 780	△ 880	1,468	203	818	302%
3. その他										
営業収益	1,004	649	285	234	162	229	154	53	13	△75%
営業原価	537	266	183	83	35	25	15	9	7	△23%
営業総利益	467	382	101	151	126	204	139	44	5	△86%
合計										
連結営業収益	20,051	8,494	7,414	10,979	5,396	3,784	6,155	4,532	4,043	△11%
連結営業原価	9,171	28,483	13,013	7,286	4,999	3,607	3,681	3,650	2,488	△32%
連結営業総利益	10,879	△ 19,988	△ 5,599	3,692	396	176	2,474	882	1,554	76%
販売費及び一般管理費	5,328	7,698	3,787	2,399	2,274	2,000	1,621	1,433	1,472	3%
営業利益	5,550	△ 27,686	△ 9,386	1,293	△ 1,878	△ 1,823	852	△ 550	82	-
経常利益	4,796	△ 28,950	△ 10,334	175	△ 2,477	△ 2,612	374	△ 610	612	-
親会社に帰属する当期純利益	3,049	△ 34,845	△ 10,903	△ 2,044	△ 2,885	△ 2,575	462	△ 850	597	-

上場実績



上場社数(単位:社)



初値ベース投資倍率

(単位:倍)

	11/3	12/3	13/3	14/3	15/3	16/3
国内	1.9	1.4	1.5	15.2	4.9	1.7
海外	0.6	1.9	3.4	2.2	1.8	-

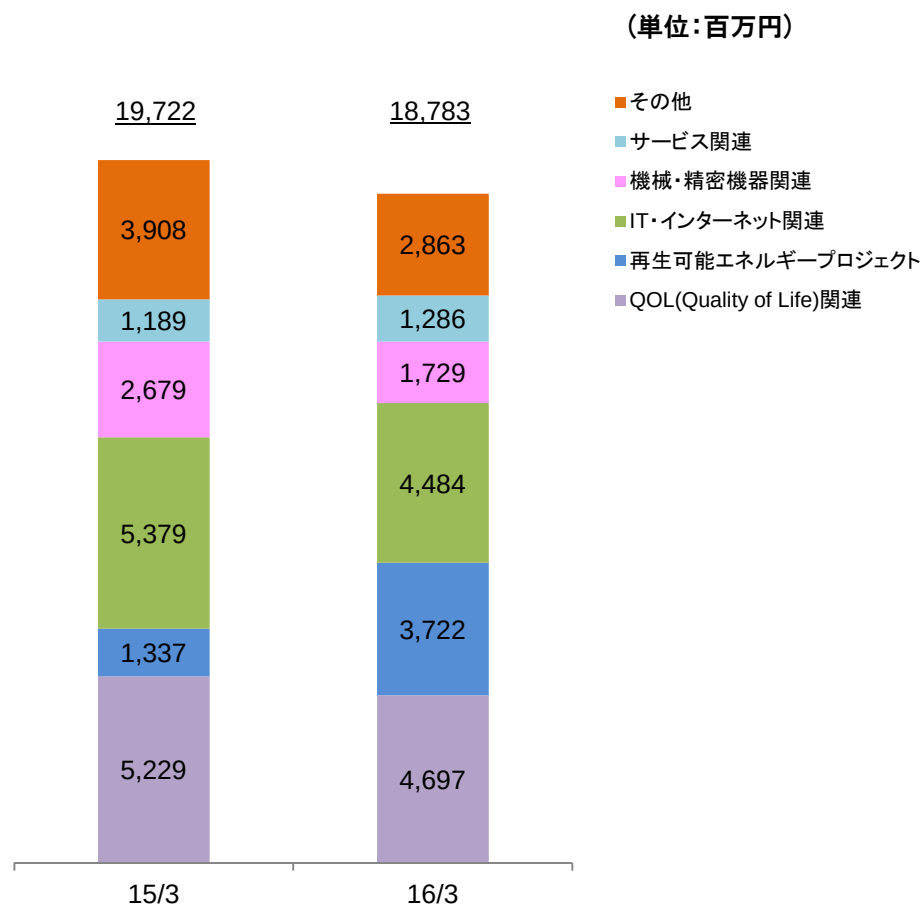
・新規上場件数には、11/3は1社、14/3は2社、15/3は2社、16/3は2社の株式交換等による上場株式取得分を含めております。

なお、初値倍率の計算には株式交換による上場株式取得分は含めておりません。平均初値倍率＝初値時価総額の合計／取得額の合計

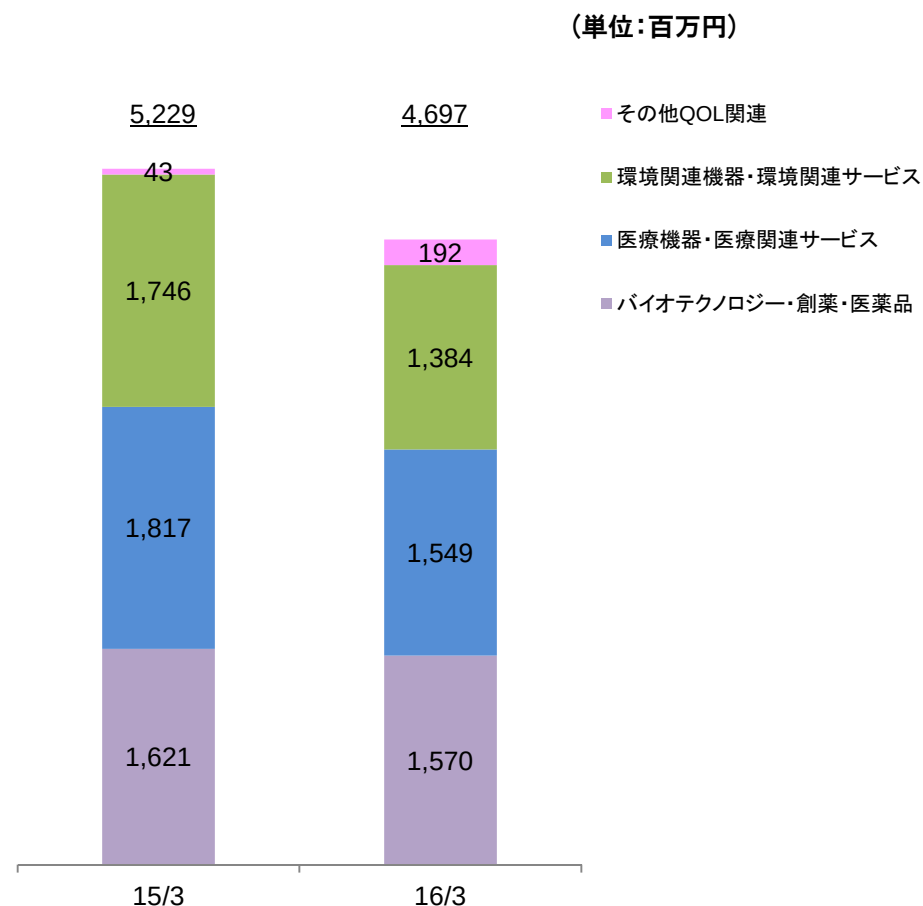
投資残高内訳 業種別



◆業種別内訳



◆QOL(Quality of Life)関連 内訳



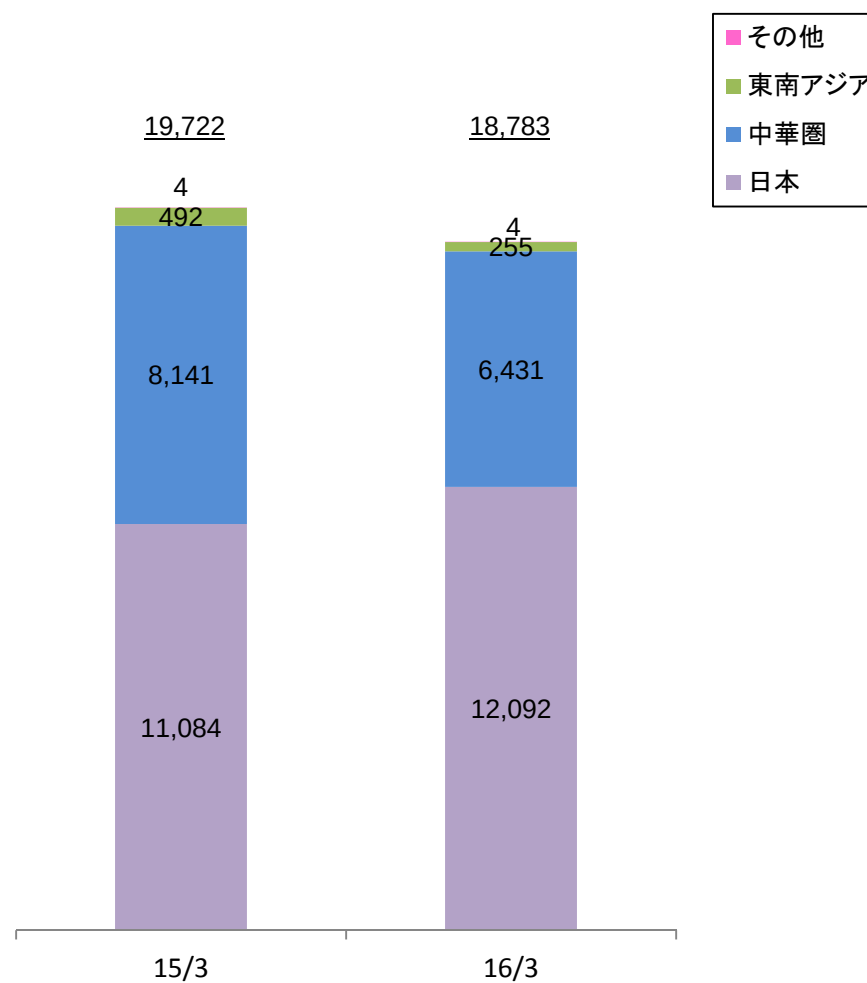
・他社ファンドへの出資持分額は含んでおりません。

・16/3より、業種別の区分を変更しております。これに伴い、15/3につきましても、変更後の業種別の区分で表示をしております。

投資残高内訳 地域別



(単位:百万円)



・他社ファンドへの出資持分額は含んでおりません。

投資残高内訳 投資時期別

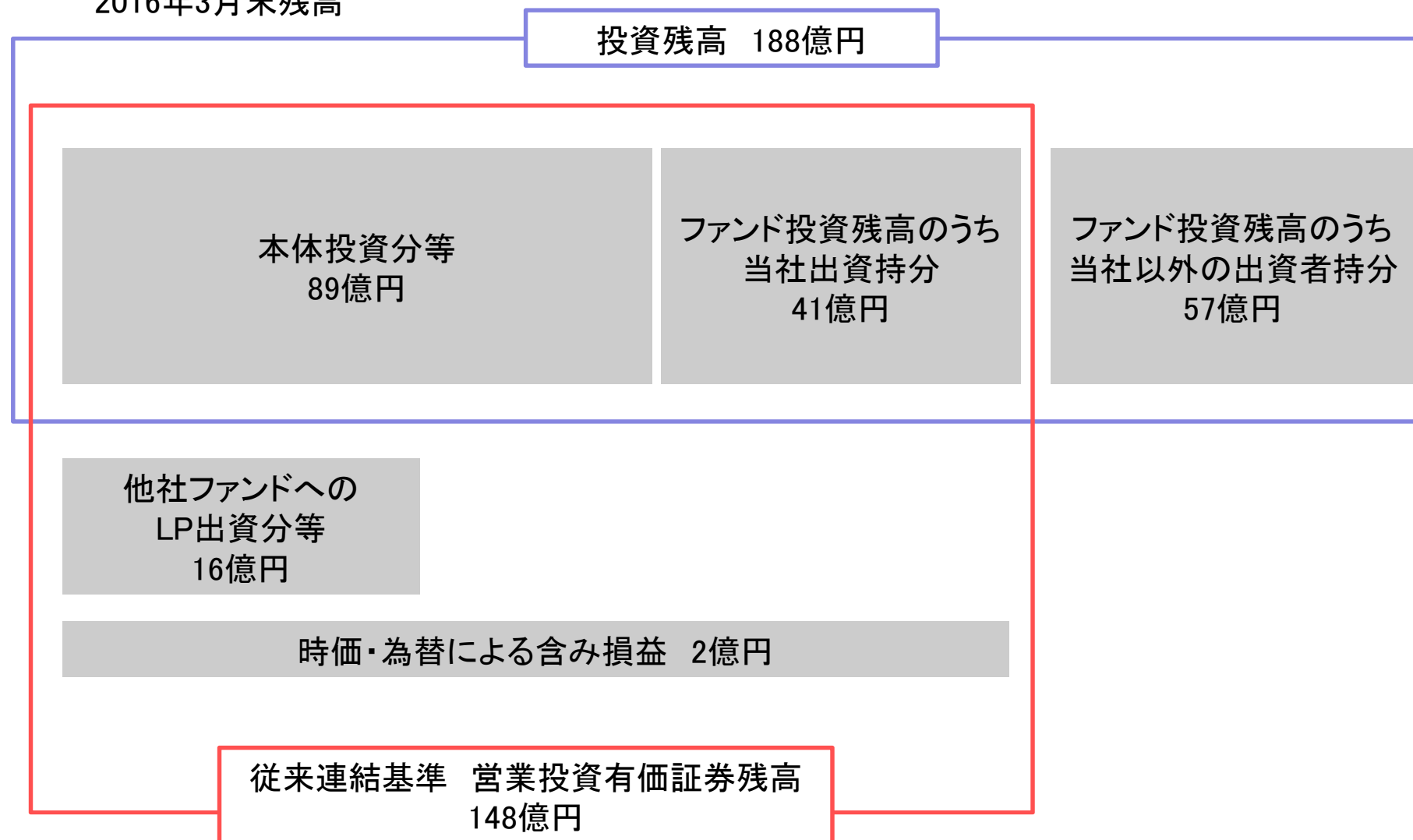


投資時期	投資金額 (百万円)	引当金残高 (百万円)	引当後投資残高 (百万円)	構成比
2008年9月以降	11,761	840	10,920	76%
2008年9月以前	7,022	3,514	3,508	24%
合計	18,783	4,354	14,428	100%

投資残高と営業投資有価証券残高の関係



2016年3月末残高



会社概要(2016年3月末現在)

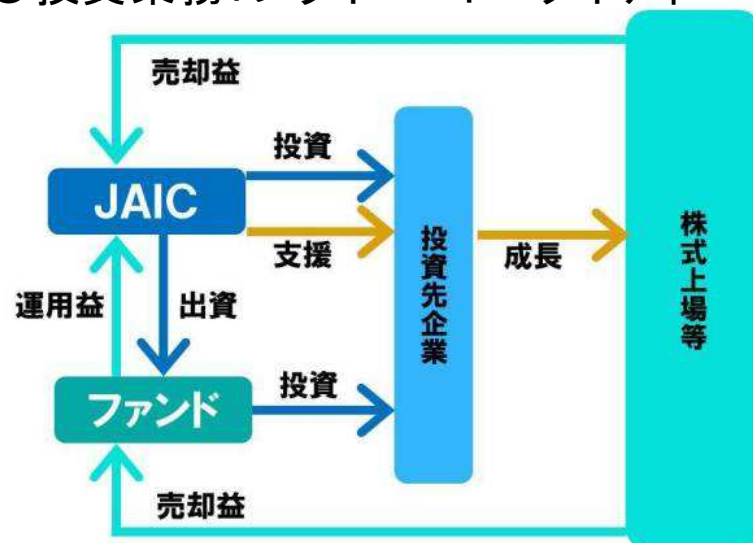


商号	日本アジア投資株式会社 (略称)JAIC
本社所在地	東京都千代田区神田錦町三丁目11番地
設立年月日	1981年7月10日
資本金	5,268百万円
株式上場市場	東京証券取引所 市場第一部
従業員数	単体23名／連結43名
事業内容	・投資業務 ・投資事業組合等の管理業務 ・その他関連業務
役員	代表取締役 細窪 政 常務取締役 下村 哲朗 監査等委員長 大森 和徳 監査等委員 安川 均 (社外取締役) 監査等委員 沼波 正 (社外取締役)

収益構造



●投資業務:プライベートエクイティ

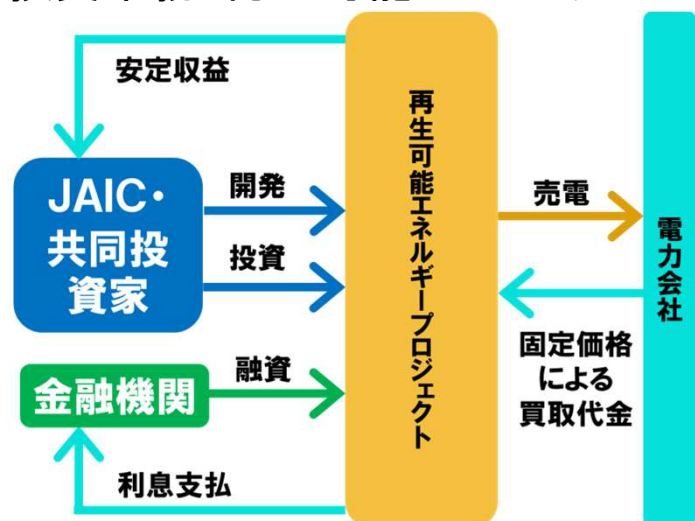


投資資金は、

- ・JAIC自身の手元資金からの拠出
 - ・ファンドを通じて国内外のファンド出資者から運用を委託された資金
- の2通りがあります

JAICの運営するファンドには、当社自身も一部出資しています

●投資業務:再生可能エネルギープロジェクト



プロジェクトの開発資金は、

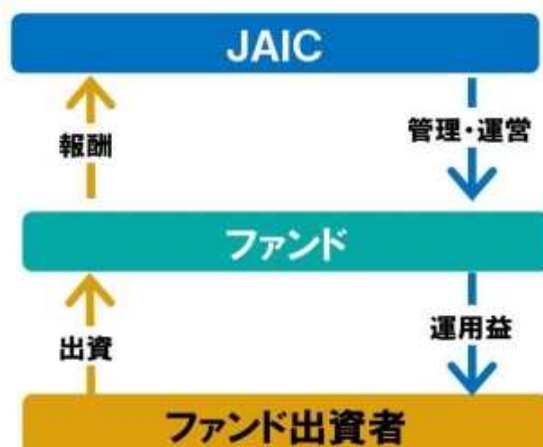
- ・JAICや共同投資家の投資資金
 - ・金融機関からの資金
- の2通りがあります

プロジェクトで発電した電力は、固定価格で電力会社買い取られます。JAICや共同投資家は、売電を源泉とした安定収益を獲得します

収益構造



●投資事業組合等(ファンド)の管理業務

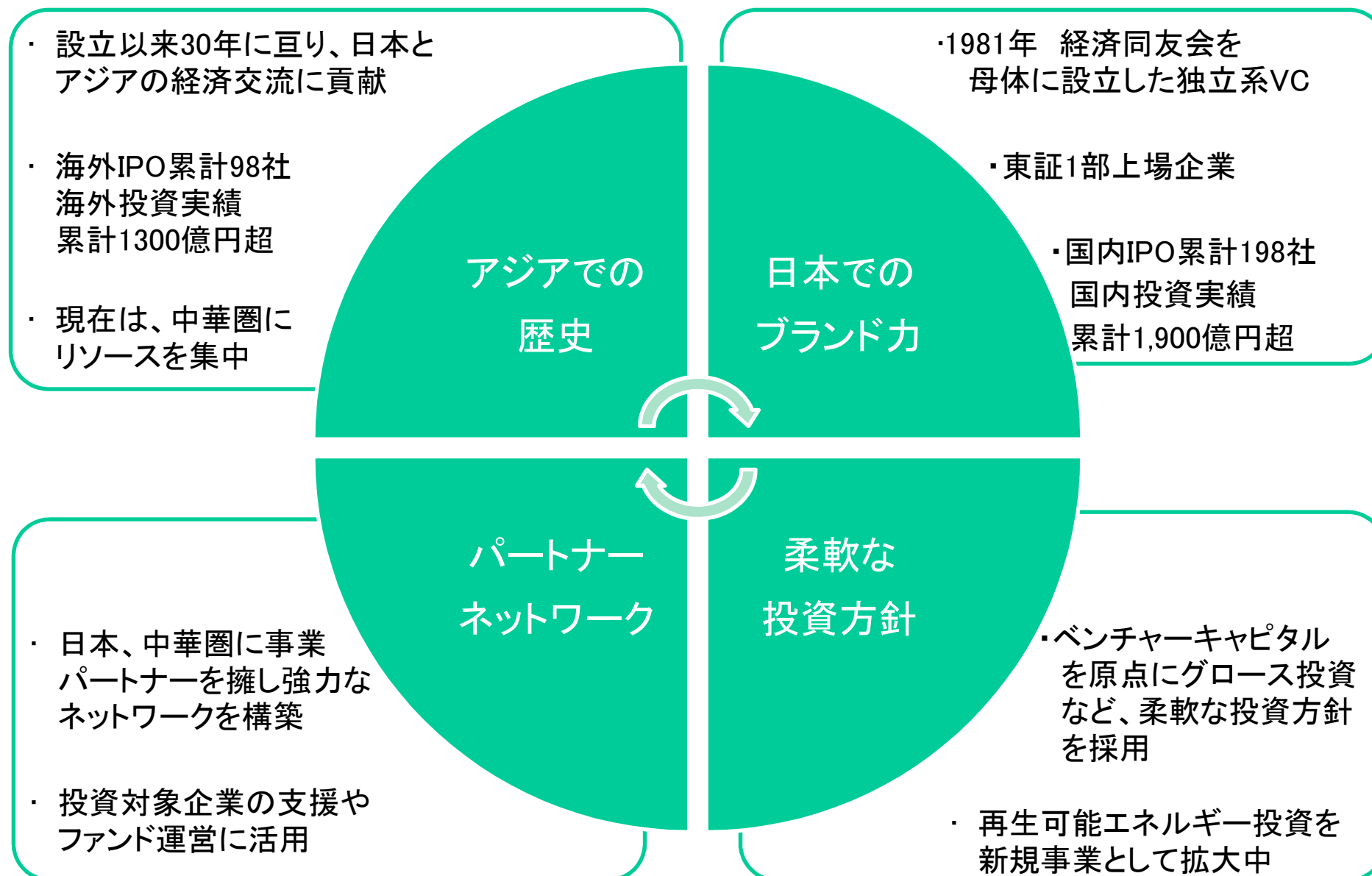


ファンドの管理業務では、

- ・経常的な管理・運営に対して受領する
管理報酬
- ・ファンドのパフォーマンスに応じて受領
する成功報酬

の2種類の報酬があります

JAICの強み



JAIC

日本アジア投資株式会社

〒101-8570 東京都千代田区神田錦町三丁目11番地 精興竹橋共同ビル

代表 Tel(03)3259-8518 Fax(03)3259-8511

<http://www.jaic-vc.co.jp>

IRに関するお問合せ先:

常務取締役 下村哲朗

管理グループ 岸本・丸山

IRに関するお問合せアドレス: ir@jaic-vc.co.jp

(ご注意)本資料に記載された事項は、資料作成時点での当社の判断であり、その情報の正確性を保証するものではありません。また、今後予告なしに変更されることがあります。本資料に含まれる意見や予測などについては、様々な要因の変化により、実際の業績や結果とは大きく異なる可能性があることをご留意下さい。また、本資料は情報の提供のみを目的としており、当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的とするものではありません。なお、本資料内の数値は全て連結ベース(ファンド連結基準・従来連結基準、ともにそれぞれ記載)にて表示しております。